



IFCO2013 大阪 世界大会 の開催について

このたび、下記のとおりIFCO世界大会を2013年に大阪で開催することが決定いたしました。この大会の日本招致にご賛同いただいた各関係機関の皆様から御礼申し上げます。

<IFCO2013 大阪世界大会の開催について(一部予定)>

日程: 2013年9月14日(土)～16日(月・祝日) ※13日午後から受付開始予定

会場: 大阪国際交流センター

主催: 全国里親会、IFCO2013 大阪世界大会実行委員会、資生堂社会福祉事業財団

IFCO(イフコ)とは

IFCO(International Foster Care Organisation、国際フォスターケア機構)は、家庭養護の促進と支援を目的とした世界で唯一の国際的ネットワーク機構です。1981年に結成されて、現在ではその会員は世界60カ国以上に広がっています。

IFCOは、文化・宗教・地域を超えた活動のステージです。そこでは社会的養護を受ける全ての子どもたちの権利と福祉を保障するために、様々な立場や専門職がひとつになって経験や知識そして情報を分かち合い、支え合います。

IFCO世界大会

IFCOの世界大会は隔年で開催されます。前回2011年はカナダ・ビクトリアで、前々回2009年はアイルランド・ダブリンで開催されましたが、アジア招致は日本が初めてとなります。毎回数百人の参加者が世界中から集まり(2011年大会は600名以上の参加者がありました)日本からも、アイルランド大会に25名、カナダ大会には50名以上の方が参加されました。

世界大会の参加者は様々な立場や専門職で構成されます。主なものを挙げると、子ども、社会的養護経験者、里親、親族里親、ケアワーカー、里親の実子、ソーシャルワーカー、セラピスト、教育関係者、研究者、法律関係者、政治家、そして政策立案者などです。

大会の進行形式や内容は、一般的な国際学会よりもカジュアルなものです。基調講演などによる発表もありますが、大会内容の半分以上を占めるのはワークショップ形式の分科会です。世界的に著名な研究者によるものから、一般の里親や社会的養護経験者によるものまで、幅広い内容のワークショップがもたれます。